

第4節 勉強の方法

1. 勉強の仕方

【中学生の半数以上が「よくする」「時々する」と回答しているのが、「問題集の問題を解く」(81.2%)、「教科書や参考書にアンダーラインを引いたり、カラーマーカーを塗る」(73.0%)、「教科書をくり返し読む」(57.1%)の3つ。女子のほうが手間暇のかかる方法をいとわない。】(図1-9)

Q3

家での勉強についてうかがいます。(学習塾や予備校、家庭教師との学習は除きます)

D. 家では、どんな勉強の仕方をする人が多いですか。次の1)～10)のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

中学生は、どのような方法で勉強を進めているのであろうか。今回の調査では、10項目を設けて、中学生の勉強方法を尋ねてみた。

中学生の半数以上が「よくする」「時々する」と答えているのが、「問題集の問題を解く」(81.2%)、「教科書や参考書にアンダーラインを引いたり、カラーマーカーを塗る」

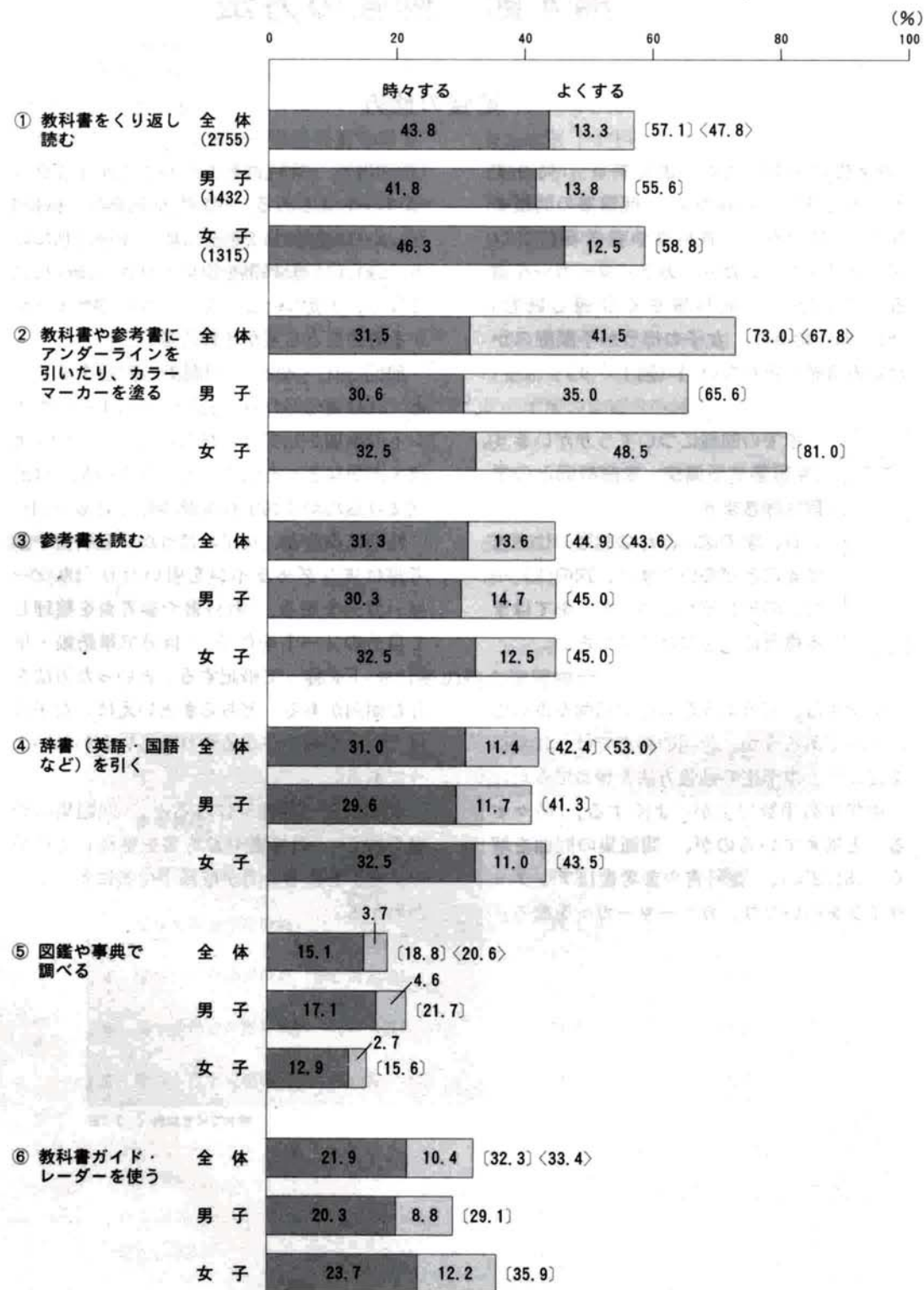
(73.0%)、「教科書をくり返し読む」(57.1%)の3つである。「参考書を読む」(44.9%)よりも問題集を解くことが重視されている。さらに、教科書を単にくり返し読むだけでなく、重要なところをマーカーでチェックする方法をとる者が比較的多い。

前回と比べると、「問題集の問題を解く」と「教科書をくり返し読む」でおよそ10ポイントの増加が見受けられた。逆に、「辞書(英語・国語など)を引く」という者の割合は前回よりも10ポイント程度減少している。

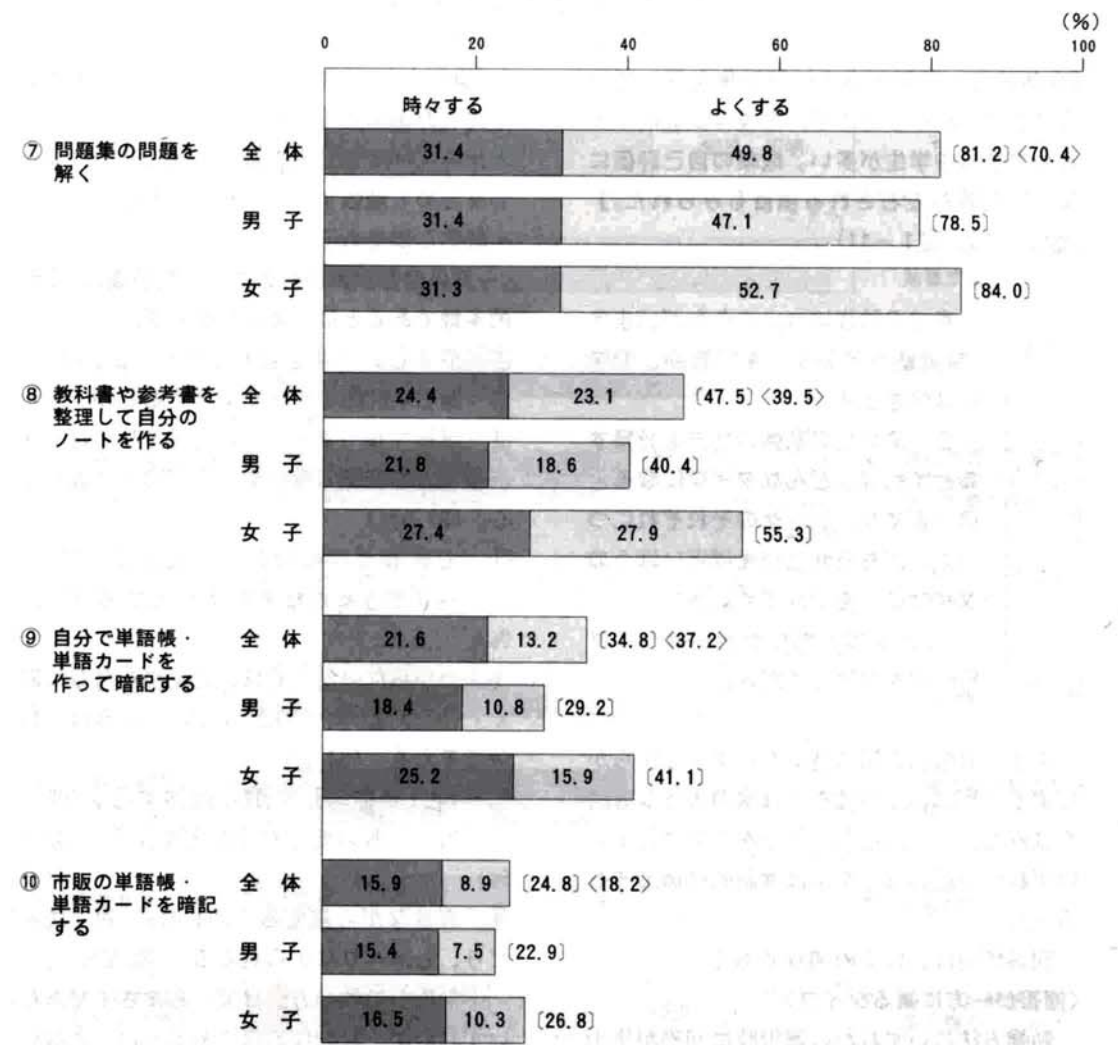
性別にみると、女子のほうが「教科書や参考書にアンダーラインを引いたり、カラーマーカーを塗る」「教科書や参考書を整理して自分のノートを作る」「自分で単語帳・単語カードを作って暗記する」といった方法を好む傾向がある。どちらかといえば、女子のほうが手間暇のかかるやり方もいとわないようである。

成績の自己評価別にみると、「問題集の問題を解く」「教科書や参考書を整理して自分のノートを作る」者が成績上位者に多いことがわかる。

図1-9 勉強の方法



※次ページへつづく



注1) [] 内の数値は「よくする」と「時々する」の合計。

注2) 全体の欄の < > 内の数値は第1回の結果。

注3) () 内はサンプル数。

2. 勉強方法のタイプ

【全体的に、復習を中心に問題集を解いていくスタイルが中心であり、勉強は試験前にまとめてやる中学生が多い。成績の自己評価によって回答が左右される項目もみられた。】
(図1-10、図1-11)

Q 3

家での勉強についてうかがいます。
(学習塾や予備校、家庭教師との学習は除きます)

E. あなたの勉強の仕方を分類するとすれば、どんなタイプになると思いますか。ア～ケのそれぞれについて、どちらかといえば近いほうのタイプに○をつけてください。

(1か2のどちらか近いほうの番号に○をつけてください)

中学生の勉強方法の特徴をいまいし明らかにするために、この調査では次のような方法を試みた。2つの勉強の仕方をペアにして、いずれかの近いほうを半ば強制的に選んでもらった。

回答傾向は、以下の通りである。

〈回答が一方に偏るタイプ〉

勉強方法のいずれかの選択肢に回答が集中したのは、以下の3つである。

- ①「予習中心」(13.9%)よりも「復習中心」(81.3%)
- ②「参考書中心」(20.7%)よりも「問題集中心」(75.1%)
- ③「毎日こつこつ勉強する」(24.2%)よりも「試験の前にまとめて勉強する」(71.9%)

「復習中心」「問題集中心」の傾向はすでに上述した事実と符合している。毎日こつこつと積み上げていくよりも、試験の時期になってまとめて勉強するというのが中学生のごく一般的な姿である。

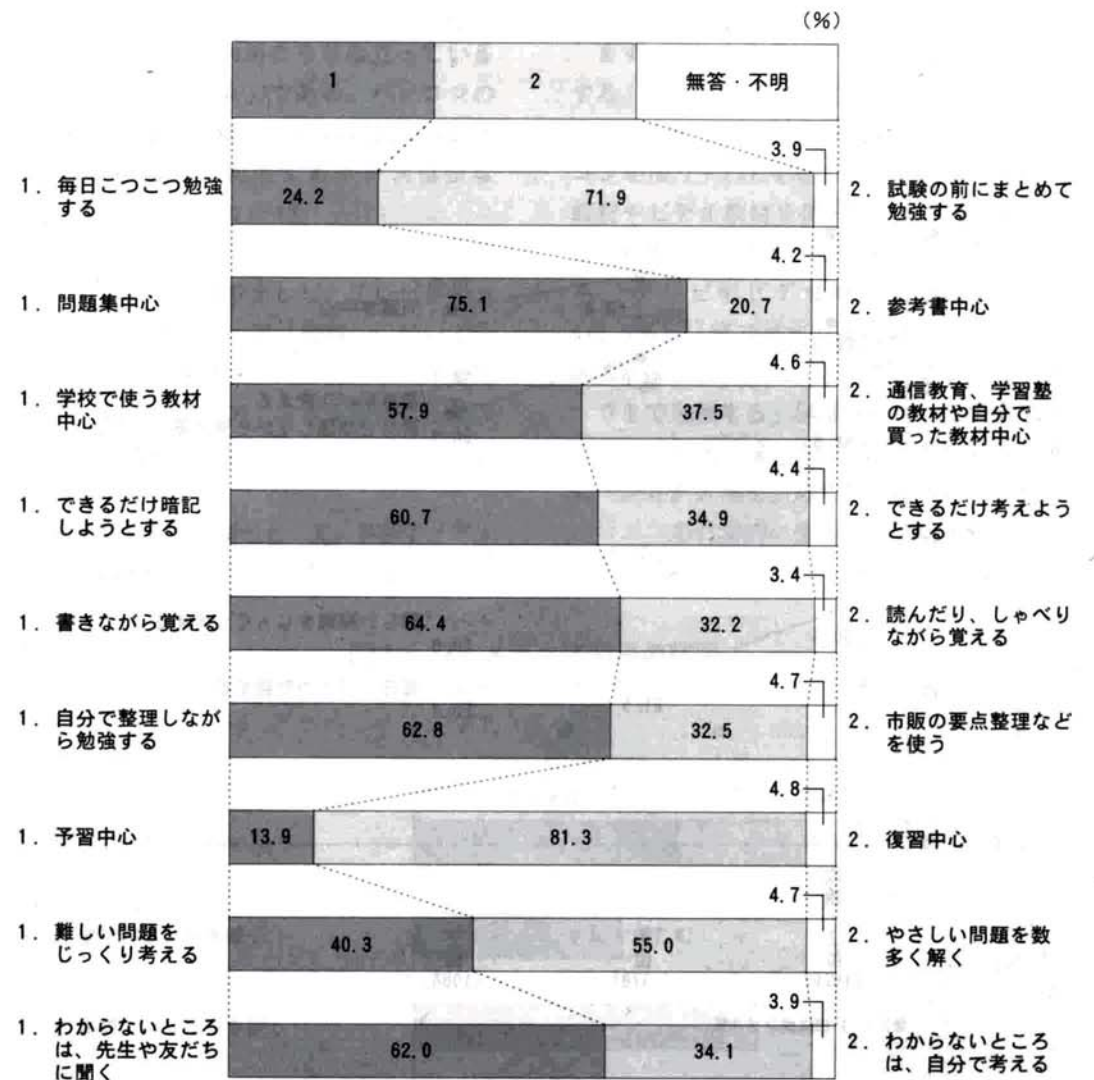
〈一方の回答が多いものの(6割前後)、圧倒的多数であるとはいえないタイプ〉

- ①「やさしい問題を数多く解く」(55.0%)対「難しい問題をじっくり考える」(40.3%)
- ②「学校で使う教材中心」(57.9%)対「通信教育、学習塾の教材や自分で買った教材中心」(37.5%)
- ③「できるだけ暗記しようとする」(60.7%)対「できるだけ考えようとする」(34.9%)
- ④「わからないところは、先生や友だちに聞く」(62.0%)対「わからないところは、自分で考える」(34.1%)
- ⑤「自分で整理しながら勉強する」(62.8%)対「市販の要点整理などを使う」(32.5%)
- ⑥「書きながら覚える」(64.4%)対「読んだり、しゃべりながら覚える」(32.2%)

中学生の勉強の方法は実にさまざまであり、いずれかが一般的な方法であるとはいえないようである。

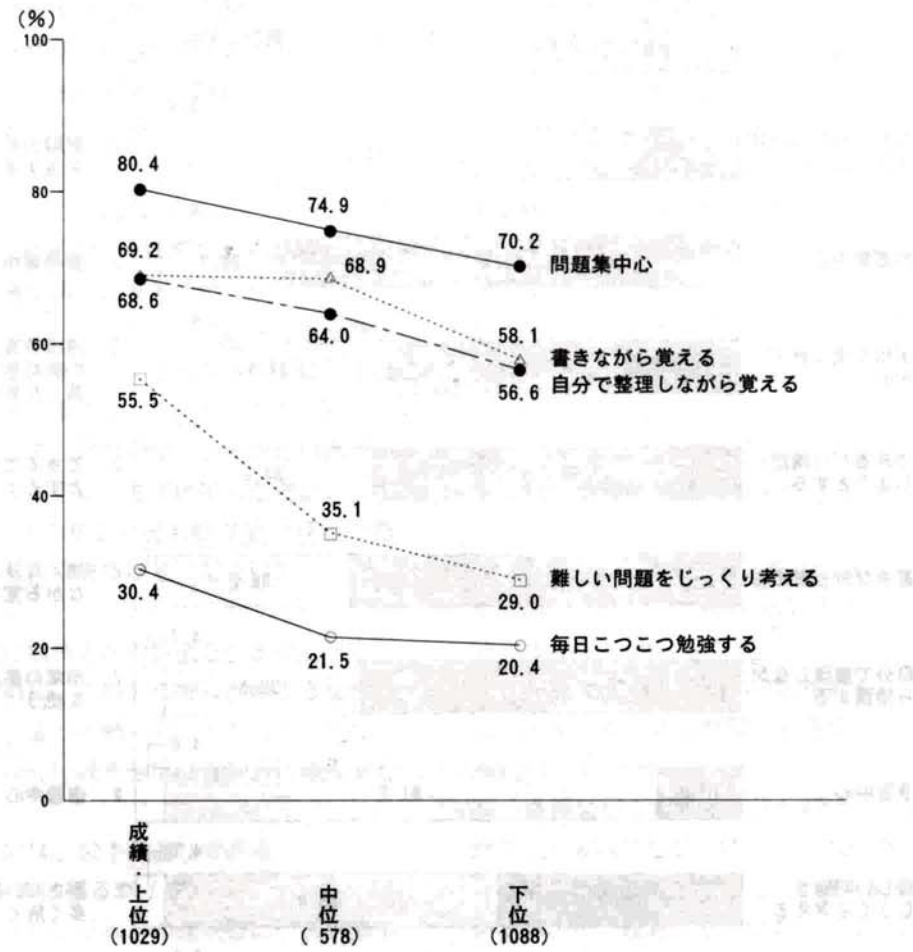
成績の自己評価別にみると、5つの項目で比較的大きな差がみられた。これによると、成績上位者ほど、「難しい問題をじっくり考える」「自分で整理しながら覚える」「書きながら覚える」「問題集中心」「毎日こつこつ勉強する」という選択肢を選ぶ傾向が強かった。

図1-10 勉強方法のタイプ(二者択一式)



注) サンプル数は2755人。

図1-11 勉強方法（成績別）



注) () 内はサンプル数。